

令和8年2月定例会 請願審査報告書

本委員会に付託された請願は、審査の結果、次のとおり決定しましたから、徳島県議会会議規則第94条第1項の規定により報告します。

令和8年3月11日

徳島県議会議長 須見 一 仁 殿

総務委員長 古野 司

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名	審 査 結 果	備 考
16	令和7. 9.10	<p>『「徳島県平和の日」の条例制定を求める請願』</p> <p>2025年は、徳島大空襲、そして終戦から80年を迎える。</p> <p>この節目の年にあって、「世界の恒久平和の実現は、徳島県民の悲願である」とした「非核の県」宣言を踏まえ、多数の県民が犠牲となった徳島大空襲をその象徴的な惨禍と捉え、7月4日を「徳島県平和の日」とすることで、改めて不戦・平和の誓いを確かなものとし、持続可能な平和社会の実現を目指すことが求められている。</p> <p>ついては、貴議会として、2025年をめぐり、7月4日を「徳島県平和の日」として条例を制定願いたい。</p> <p>(仁木啓人 東条恭子 長池文武 庄野昌彦 竹内義了 達田良子 扶川 敦 岡田 晋 曾根大志)</p>	とくしまピースネット80 共同代表 久積 育郎	不採択	
18	令和7. 11.28	<p>『インボイス制度の見直し及び負担軽減措置の延長を求める請願』</p> <p>小規模事業者にとって、インボイス制度導入による新たな消費税納税義務は事実上負担として大きくのし掛かっており、2026年10月からインボイス制度の2割特例や8割控除など負担軽減措置が廃止・縮小されれば、フリーランスや小規模事業者の苦境が一層深まる。</p> <p>小規模事業者が引き続き地域の社会・経済活動を支え続けることができるよう、次のことを求める意見書を国へ提出願いたい。</p> <p>① インボイス制度について、小規模な課税事業者の納税額増加や、免税事業者が値引きの強要や取引からの排除などの影響を受けないような仕組みに見直すこと。</p> <p>② 2割特例、8割控除などの負担軽減措置について、適用期間を延長すること。</p> <p>(達田良子 扶川 敦)</p>	3.13重税反対統一行動徳島県実行委員会 代表 山本 正美	不採択	

不採択の理由

受理 番号	件名及び理由
16	<p>『「徳島県平和の日」の条例制定を求める請願』</p> <p>徳島大空襲の日である7月4日をもって、県の「平和の日」として定めることについて、その甚大な空襲被害自体は重く受け止めるものではありませんが、これまで、終戦記念日や県内各地域で開催されている戦没者追悼式など、それぞれで平和を願う行事が開催されてきた現状などを踏まえると、県民全体のコンセンサスを得られるかどうか問題があると考えられることから、御要望には沿えません。</p>
18	<p>『インボイス制度の見直し及び負担軽減措置の延長を求める請願』</p> <p>去る12月26日に閣議決定された令和8年度税制改正大綱において、小規模事業者等に対する負担軽減措置の一部見直しと延長の方向性が示され、それぞれ3割特例や7割控除として、2年間延長することが明記されています。</p> <p>また現在、国において、関連法案の審議が行われており、制度の円滑な定着と事業者の実情に応じた十分な配慮と対応が図られていることから、御要望には沿えません。</p>